

学校だより

R 7. 4. 21 発行

清水小学校

しみず 4月

家庭数



笑顔があふれる学校に

校長

いよいよ令和7年度がスタートしました。清水小学校には68名の1年生が入学し、全校児童は407人となりました。3月下旬に気温の低い日が続いたせい
か、今年は校内の桜の花が長く咲き続け、入学式も華やぎました。

新しい教室、新しい仲間との出会いに、子どもたちの瞳は希望に満ちあふれて
います。今年度も本校では、校訓「にここに、いきいき、はつらつ」を合言葉に、
「笑顔があふれる学校づくり」を進めてまいります。

御存じのように、本校では「いきがい交流センターしみず」の皆様と子どもた
ちとの交流を継続的に行っております。その際、お世話になったお礼の言葉を述
べると、多くの地域の方から、「こちらこそ、子どもの笑顔に元気をもらっていま
す」というお声を拝聴します。笑顔は、周りの人たちを幸せにしてくれる力を持
っているのですね。子どもたちも、地域の方や友達、先生の笑顔を見ると安心感
を覚え、学習活動への意欲が高まります。

子どもたちが毎日笑顔で登校し、主体的に学び、心身共に健康で活気あふれる
学校生活を送ることができるよう、教職員一同、力を合わせ取り組んでまいりま
す。

保護者の皆様、地域や関係諸機関の皆様、本校の教育活動に対しまして、引き
続き、御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



本物の経験を

生徒指導主事

清水小学校で2年目の生活が始まりました。407人の清水っ子が「にこにこ・いきいき・はつらつ」と過ごすことができるよう、生徒指導主事という立場で力を尽くしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

最近、学級担任をしていて感じることがあります。それは、子どもたちの持っている知識の幅が昔と比べてとても広がったということです。私たちは集会や運動会など行事になると、人気の楽曲を探します。子どもたちが知っていて、ノリノリになってくれたら大満足というわけなのですが、最近の子たちは、あれもこれも知っていて私たち教員より知っているのではないかと思うくらいの反応が返ってきます。その背景には、YouTubeやInstagram、XなどのSNSの発達が関係していると思われます。知りたいことをすぐ知ることができる、よい時代になったと言えます。

ですが、そこにはある種の危険も存在すると感じています。テレビやインターネット上で見て漠然と知っている情報が多くなってきたのではないかということです。「こんな動きができたらすごい。」「こんなドッキリをすると面白い。」でも、その裏でたくさんけががあったり、嫌な思いをしている人がいたりしても、それは画面上には映りません。この画面上に映らない様々な感覚を子どもたちは自分の経験を通して知っていく必要があります。だからこそ、目の前の「本物」と真剣に向き合ってほしいと思います。

友達と会話をする。協力してイベントを成功させる。係でクラスを楽しませる。苦手なことや嫌いなことに挑戦する。時には友達とけんか。私は、けんかをしてもしっかり解決すれば大丈夫だと思っています。そうしたことで得られる一つ一つの経験を「体」で、「心」で知っていく喜びを、情報過多の時代に生きる子どもたちに大切にしてほしいと思います。

今年度も清水小学校では、いじめ0の学校づくりのために、次のような取組みを継続していきます。いじめの芽を見逃すことなく、一つ一つ丁寧に対応し、解決していきたいと考えています。

- (1) 毎月末に学校生活アンケート・個別の教育相談を実施します。
- (2) 悩み相談の窓口として「いじめ実態把握専用メール」を運用し、メールによる相談の受付を行います。メールアドレスは、sos-s.shimizu001@matsuyama-edu.ed.jpです。
- (3) 「いじめ防止対策推進法」を受け、本校で「松山市立清水小学校いじめ防止基本方針」を策定し、清水小学校ホームページに掲載しています。

アドレスは <http://matsuyama-shimizu-e.esnet.ed.jp/>です。

- (4) 「ネットを介したいじめやトラブルを防ぐためのまつやま子ども行動宣言2022 ①送る前に受け取る人の気持ちを考えよう②一人で抱え込まず、誰かに相談しよう③家族と使い方のルールを決めよう」の三つについて子どもたちに指導していきますので、御家庭でも御指導をよろしくお願いいたします。

家庭・地域・学校が思いを一つにして、清水っ子を見守っていければと思います。1年間、よろしくお願いいたします。